



来週13日、卒業証書授与式

いよいよ旅立ちのとき

3年生にとって最後の〇〇。今週は、最後の授業となった教科もあり、思い出深い1週間になりました。3年生は、前期選抜試験も一段落し少し休みたいところかもしれません、卒業文集の原稿を仕上げたり、何かメッセージを書いたりと忙しそうでした。ですが、逆に友達とできる最後の「わいわい」を楽しんでもいるように見えました。

卒業式の練習では、練習を重ねるごとに返事が大きくなっていました。課題だった式歌も、3年生はもちろん、1・2年生も、立派な卒業式にしようと合同式歌練習などを重ねてきましたので、校舎内から聞こえる歌声は、日に日にきれいになってきているところです。

来週の13日（水）、16名がこの学び舎を巣立つまさに旅立ちのときです。生徒の皆さん、全員で素晴らしい卒業式をつくりあげましょう。

卒業生の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、当日もよろしくお願ひいたします。



＜ご連絡＞

13日に3年生の卒業証書授与式、22日には1・2年生の修了証書授与式を行います。それぞれ今年度最後の登校日となりますので、確認してください。

【卒業式】	3月13日（水）
～8：10	在校生登校
8：30～	来賓、卒業生、保護者受付
9：15	保護者入場
9：25	卒業生入場
9：30～	卒業証書授与式
11：15～	学級活動
11：45～	写真撮影
12：00～	見送り、下校

【修了式】	3月22日（金）
～8：10	登校
8：15～	朝の学活
8：25～	体育館入場
8：30～	修了式
9：35～	環境整備、普通清掃
10：45～	学級活動
11：35	下校 (部活動なし)

県立高校入試前期選抜試験 無事終了

新型コロナ、インフルエンザ等の感染が心配される中、福島県の県立高校で3月5日から前期選抜試験が行われました。

本校生徒については、体調を整え、6日までにすべての生徒が無事、面接試験まで終えることができました。3年生からは、「緊張しました」、「〇〇は難しかったです」、「面接は、練習したとおりにできました」などの反応がありましたが、当然のごとく、終えたことで表情はみんな和らいでいました。

合格発表は、3月14日（木）に行われます。



東日本大震災・原発事故から13年 ～風化させないために～

平成23年3月11日（金）、午後2時46分に、マグニチュード9の巨大地震が発生しました。当日の午前中、県内の中学校では卒業式が行われました（ちなみに、私はその年3年生を担任しており、午前中に参加できなかつた生徒が午後3時から参加するため、その準備をしていました）。長い時間続いた直接の揺れだけでなく、その後繰り返し襲ってきた大津波によるものを含め甚大な被害が生じ、多くの人命が失われました（東日本大震災）。改めてご冥福をお祈りいたします。さらに東京電力福島第一原子力発電所の事故が続き、多くの人たちが避難生活を強いられました。

地震から13年が過ぎようとしていますが、未だに避難生活を続けざるを得ない人たちも多く、帰宅困難区域のため移転を余儀なくされている学校もあります。震災を風化させず、引き続き防災について学んでいくことが求められています。

自然災害はいつ、どこで発生するかわかりません。今年元日の能登半島地震がその典型です。災害を引き起こす自然現象そのものを防ぐことはできませんが、日頃からの備えによって被害を小さくすることはできます。そのためにも、過去に生じた災害を知り、もしもの時に自分の命を守ることが大切です。

生徒の皆さんの中には、震災の記憶があまりない人も多いことでしょう。実際、現在の1年生は震災前後に生まれた学年です。ぜひ、家庭で当時の様子を話題にしていただき、この機会に改めて防災や避難についての意識を高めてほしいと思います。広島や長崎の人たちが、原爆の悲惨さと平和の大切さを語り継いでいるように、ふくしまに生まれ、ふくしまに育ち、ふくしまで暮らす私たちは、東日本大震災や原発事故の被害、命の大切さ、困難な状況の中で支え合って生きてきたことなどを今後に伝えていくことが大切です。

なお、少しでも風化しないよう、昨年度は全学年、今年は1年生に震災を題材にした道徳の授業を行いました。